

2021年3月期 決算補足説明資料

2021年4月30日

南海電気鉄道株式会社

(東証1部 9044 <http://www.nankai.co.jp/>)

I . 2021年3月期 決算概要	P. 2
1. 業績ハイライト	P. 3
2. セグメント別の状況	P. 5
3. 営業外・特別損益の状況	P. 20
4. 資産、負債及び純資産の状況	P. 21
5. キャッシュ・フローの状況	P. 22
6. 投資額・EBITDA（セグメント別）	P. 23
（参考）新型コロナウイルス感染症の影響	P. 24
II . 2022年3月期 業績予想	P. 25
1. 業績予想策定の前提条件	P. 26
2. 業績ハイライト	P. 28
3. セグメント別の状況	P. 29

I. 2021年3月期 決算概要

1. 業績ハイライト①

(単位：百万円・%)

	2020年3月期 実績 (A)	2021年3月期 実績 (B)	増減額 (B-A)	増減率	2021年3月期 前回予想 (C) (2020年10月公表)	増減額 (B-C)	増減率
営業収益	228,015	190,813	△ 37,201	△ 16.3	195,500	△ 4,686	△ 2.4
営業利益	35,223	5,552	△ 29,671	△ 84.2	4,500	1,052	23.4
営業外収益	1,462	1,695	232	15.9			
営業外費用	5,009	5,393	384	7.7			
経常利益	31,677	1,854	△ 29,823	△ 94.1	400	1,454	363.5
特別利益	3,000	2,349	△ 651	△ 21.7			
特別損失	4,150	5,400	1,249	30.1			
親会社株主に帰属する当期純利益又は 親会社株主に帰属する当期純損失(△)	20,811	△ 1,861	△ 22,673	-	△ 700	△ 1,161	-

<主な増減理由等:前期比>

運輸業をはじめ当社グループの事業が新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受けたことにより減収減益
(新型コロナウイルス感染症による影響はP.24参照)

<主な増減理由等:前回予想比>

2度目の緊急事態宣言発出の影響や、建設業における完成工事高の減少により減収の一方、費用削減により営業増益

1. 業績ハイライト②

(単位：百万円・%)

	2020年3月期 実績 (A)	2021年3月期 実績 (B)	増減額 (B-A)	増減率	2021年3月期 前回予想 (C) (2020年10月公表)	増減額 (B-C)	増減率
投資額	47,917	27,966	△ 19,951	△ 41.6	36,200	△ 8,233	△ 22.7
減価償却費	28,786	29,410	624	2.2	29,600	△ 189	△ 0.6
E B I T D A ※	64,976	35,695	△ 29,280	△ 45.1	34,700	995	2.9
有利子負債残高	467,953	506,475	38,522	8.2	517,200	△ 10,724	△ 2.1
有利子負債残高 ／ E B I T D A ※ 倍率	7.2倍	14.2倍	7.0pt	－	14.9倍	△ 0.7pt	－

<主な増減理由等：前期比>

投資額 必要性・優先度を精査して徹底した圧縮を実施したことにより減少
有利子負債残高 新型コロナウイルス感染拡大を受け手元資金を確保

<主な増減理由等：前回予想比>

投資額 工事の厳選執行及び開発案件の期ズレ等による減少

※ 営業利益 + 受取配当金 + 減価償却費

2. セグメントの構成状況 (2021年3月末現在)

【連結子会社55社・非連結子会社13社・関連会社6社 (うち持分法適用会社0社)】

増減 (対 2020年3月末)

連結子会社の増加 1社 : 株式会社南海リサーチ&アクト (新規設立)

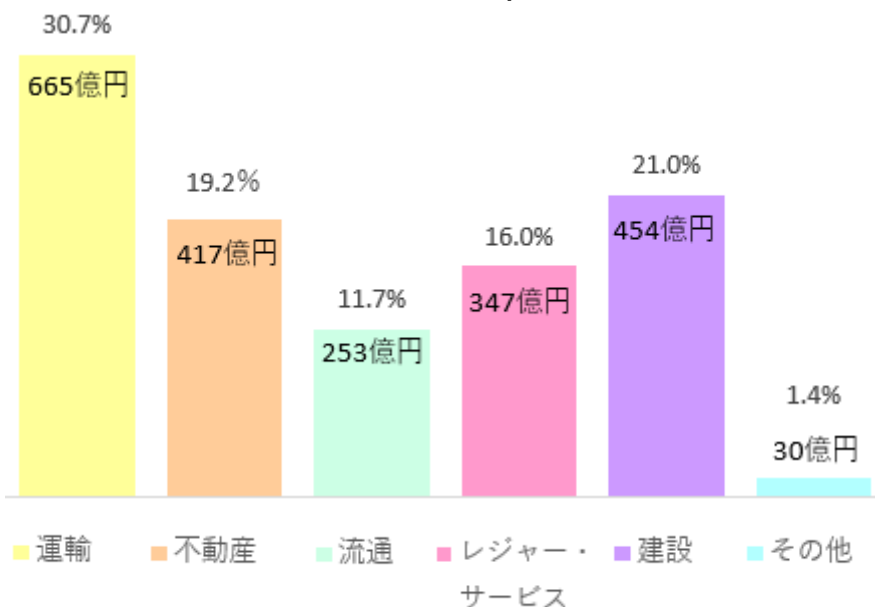
持分法適用関連会社の減少 1社 : 株式会社新南海ストア (株式譲渡)

持分法非適用関連会社の増加 1社 : なんば開発特定目的会社 (新規設立)

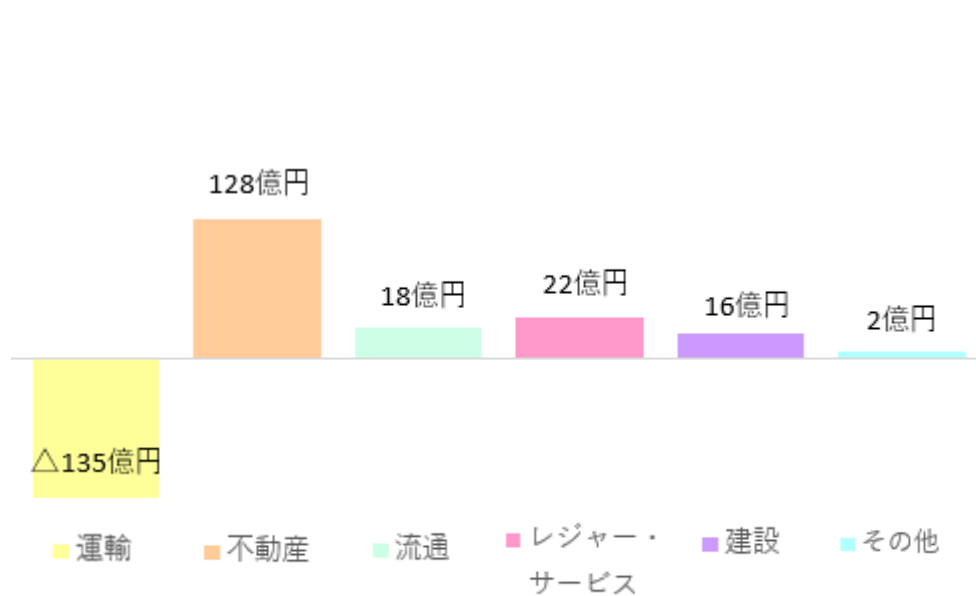


※当社は運輸業、不動産業、流通業、レジャー・サービス業に、泉北高速鉄道株式会社は運輸業と不動産業に重複して含まれております。

セグメント別営業収益



セグメント別営業利益



※ 構成比 : セグメント間取引を含む営業収益に対する比率

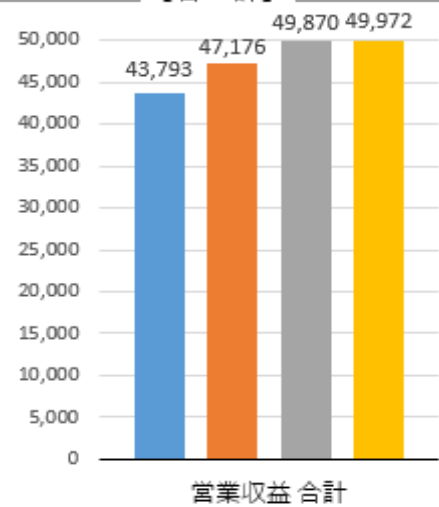
2. セグメント別営業収益・営業利益

①四半期会計期間（3ヶ月）営業収益推移

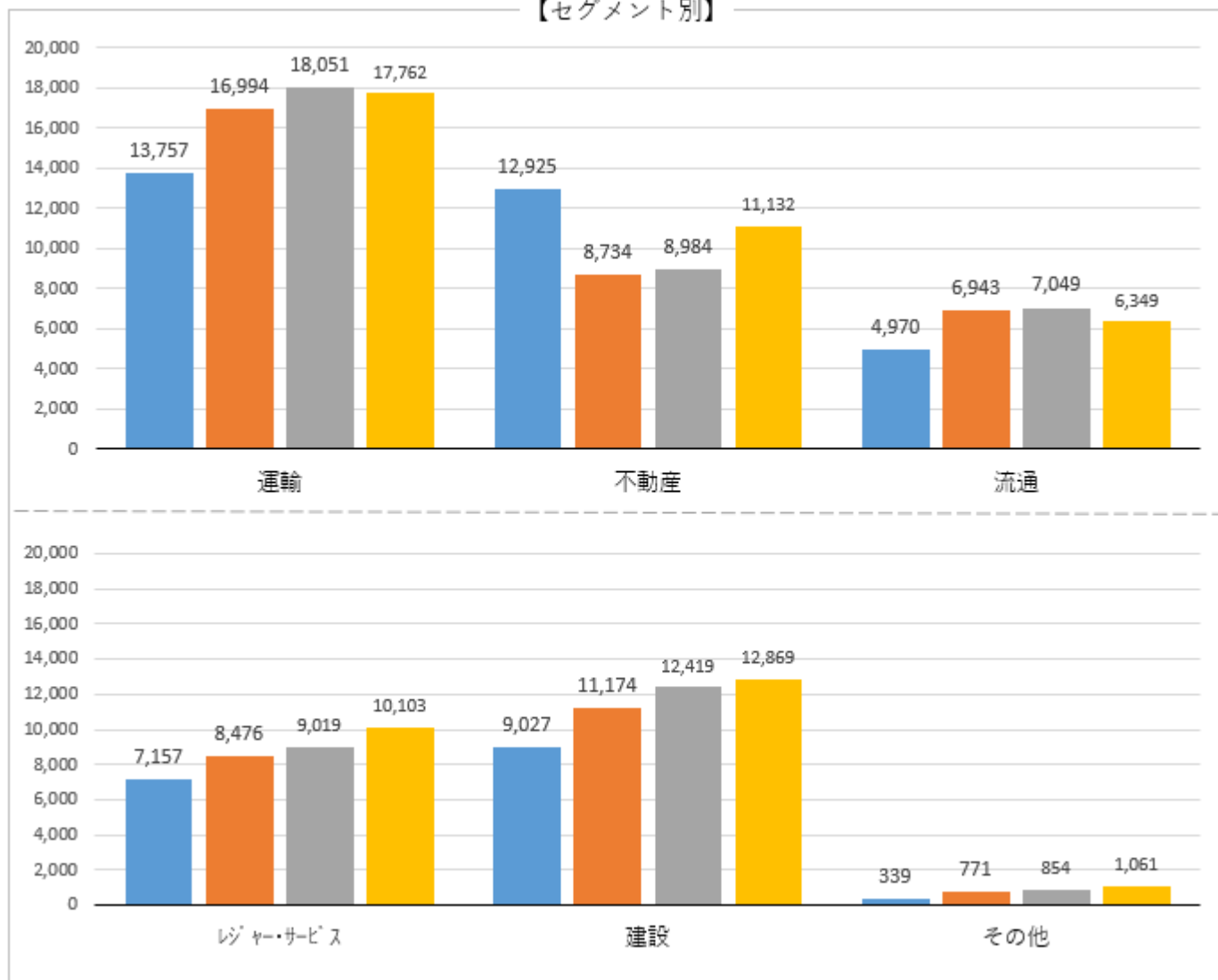
（単位：百万円）

- 第1四半期
（2020年4月～6月）
- 第2四半期
（2020年7月～9月）
- 第3四半期
（2020年10月～12月）
- 第4四半期
（2021年1月～3月）

【合計】



【セグメント別】

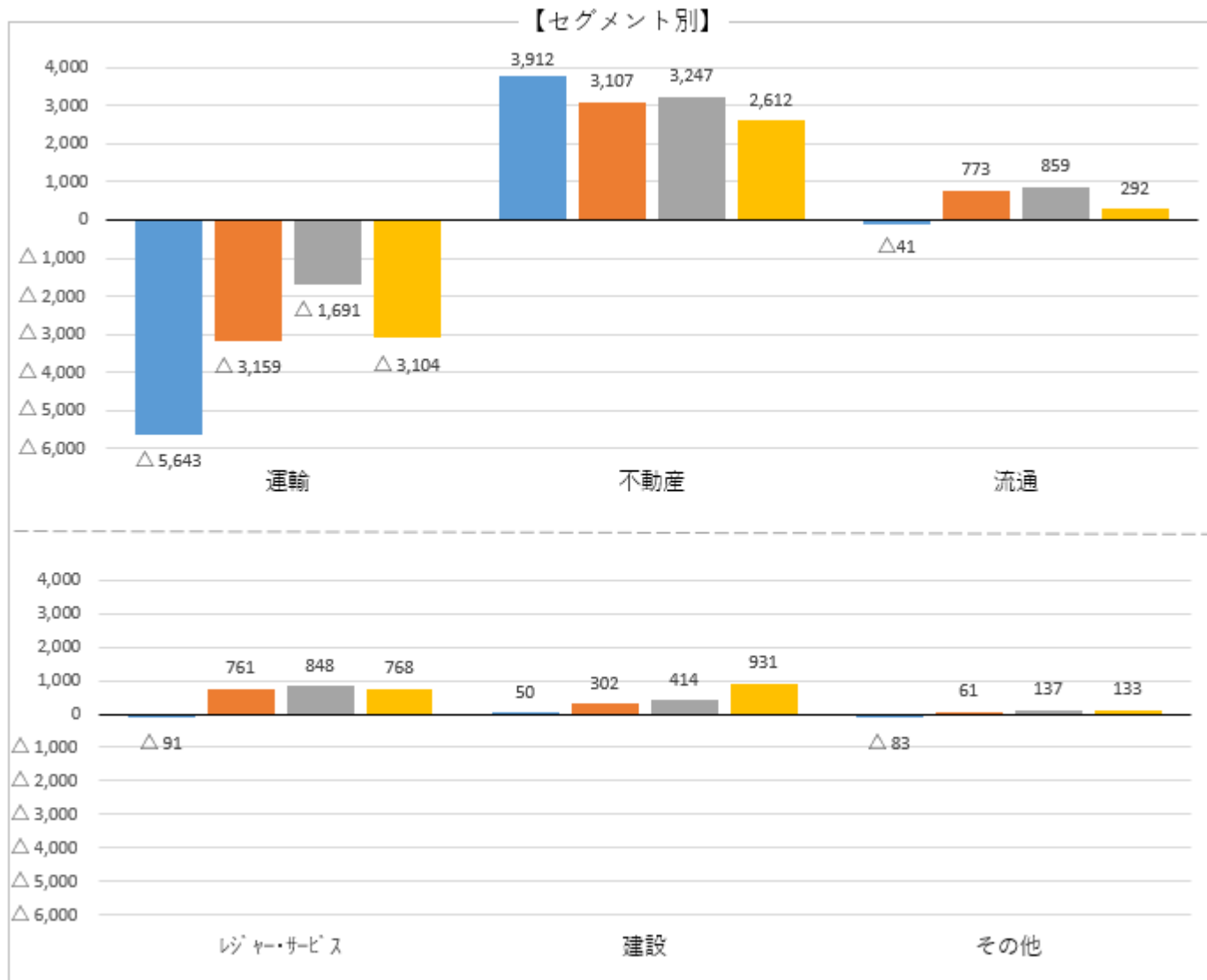


2. セグメント別営業収益・営業利益

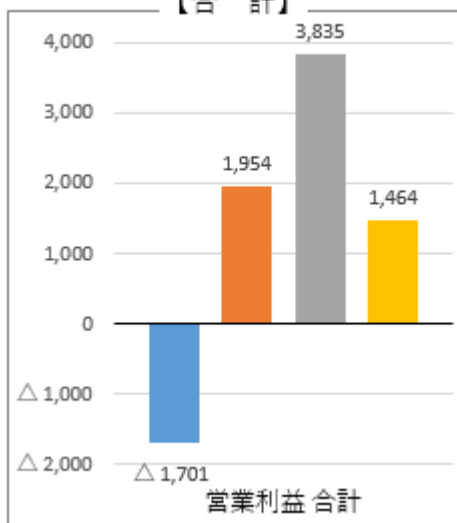
②四半期会計期間（3ヶ月）営業利益推移

(単位：百万円)

- 第1四半期
(2020年4月～6月)
- 第2四半期
(2020年7月～9月)
- 第3四半期
(2020年10月～12月)
- 第4四半期
(2021年1月～3月)



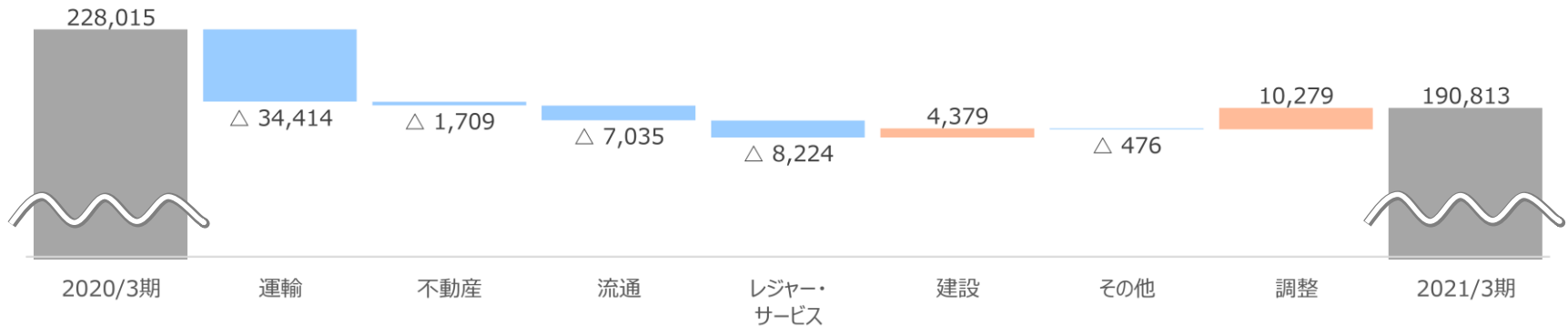
【合計】



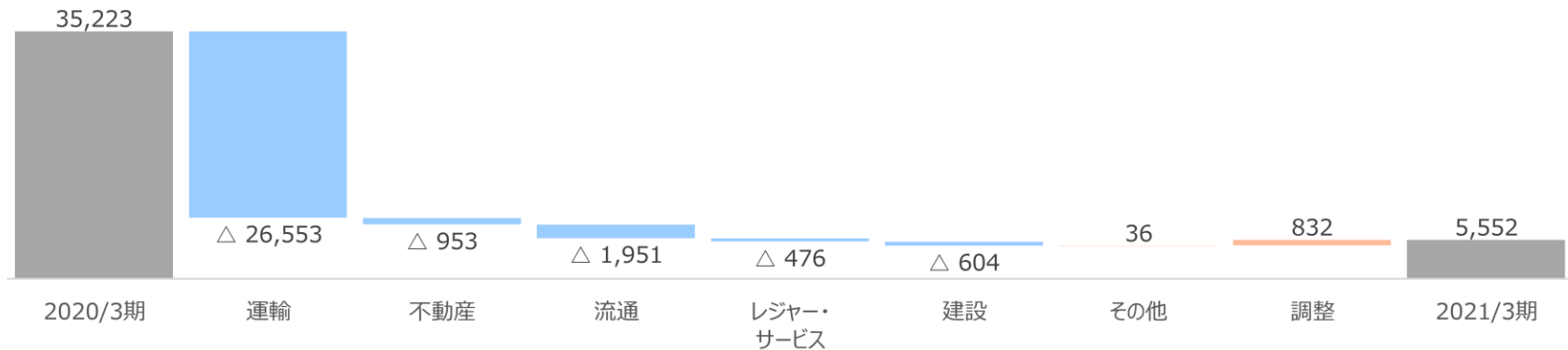
2. セグメント別営業収益・営業利益（対 前期比較）

（単位：百万円）

① 営業収益の増減額



② 営業利益の増減額



2. セグメント別営業収益・営業利益（対 前期比較）

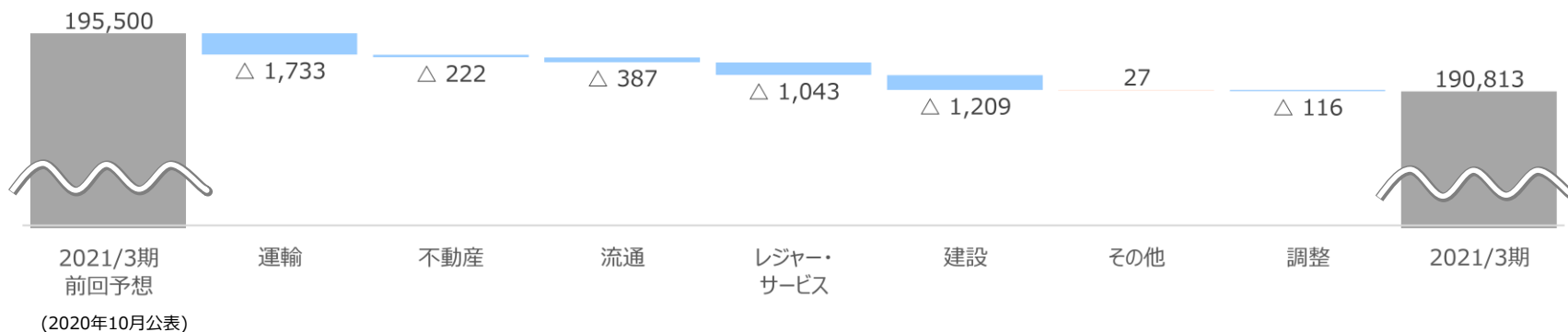
（単位：百万円・％）

	営業収益				営業利益			
	2020年 3月期 実績	2021年 3月期 実績	増減額	増減率	2020年 3月期 実績	2021年 3月期 実績	増減額	増減率
運 輸 業	100,980	66,566	△ 34,414	△ 34.1	12,953	△ 13,599	△ 26,553	—
不 動 産 業	43,486	41,777	△ 1,709	△ 3.9	13,832	12,878	△ 953	△ 6.9
流 通 業	32,348	25,312	△ 7,035	△ 21.7	3,835	1,883	△ 1,951	△ 50.9
レジャー・サービス業	42,981	34,756	△ 8,224	△ 19.1	2,762	2,285	△ 476	△ 17.3
建 設 業	41,111	45,490	4,379	10.7	2,304	1,699	△ 604	△ 26.2
そ の 他 の 事 業	3,503	3,027	△ 476	△ 13.6	212	248	36	17.3
調 整 額	△ 36,396	△ 26,116	—	—	△ 677	155	—	—
合 計	228,015	190,813	△ 37,201	△ 16.3	35,223	5,552	△ 29,671	△ 84.2

2. セグメント別営業収益・営業利益（対 前回予想比較）

（単位：百万円）

① 営業収益の増減額



② 営業利益の増減額



2. セグメント別営業収益・営業利益（対 前回予想比較）

（単位：百万円・％）

	営業収益				営業利益			
	2021年 3月期 前回予想 <small>（2020年10月公表）</small>	2021年 3月期 実績	増減額	増減率	2021年 3月期 前回予想 <small>（2020年10月公表）</small>	2021年 3月期 実績	増減額	増減率
運 輸 業	68,300	66,566	△ 1,733	△ 2.5	△ 13,700	△ 13,599	100	－
不 動 産 業	42,000	41,777	△ 222	△ 0.5	12,500	12,878	378	3.0
流 通 業	25,700	25,312	△ 387	△ 1.5	1,700	1,883	183	10.8
レジャー・サービス業	35,800	34,756	△ 1,043	△ 2.9	2,100	2,285	185	8.9
建 設 業	46,700	45,490	△ 1,209	△ 2.6	1,600	1,699	99	6.2
その 他 の 事 業	3,000	3,027	27	0.9	100	248	148	148.8
調 整 額	△ 26,000	△ 26,116	－	－	200	155	－	－
合 計	195,500	190,813	△ 4,686	△ 2.4	4,500	5,552	1,052	23.4

2. セグメント情報（運輸業）

（単位：百万円・％）

運輸業		2020年3月期 実績	2021年3月期 実績	増減額	増減率
鉄	道 事 業	68,439	45,665	△ 22,774	△ 33.3
バ	ス 事 業	27,001	16,189	△ 10,812	△ 40.0
そ の 他 の 運 輸 業		12,875	10,047	△ 2,827	△ 22.0
調 整 額 （ セ グ メ ン ト 内 ）		△ 7,336	△ 5,336	—	—
営 業 収 益		100,980	66,566	△ 34,414	△ 34.1
営 業 利 益		12,953	△ 13,599	△ 26,553	—
主 な 内 訳	鉄 道 事 業	10,365	△ 9,595	△ 19,960	—
	バ ス 事 業	2,532	△ 3,356	△ 5,888	—

（主な増減理由）

・鉄道事業やバス事業において、新型コロナウイルス感染症の影響による外出自粛やインバウンド需要の消失に伴い、輸送人員が減少したこと等により減収減益

2. 鉄道旅客収入及び輸送人員表（個別）

（単位：百万円・千人・％）

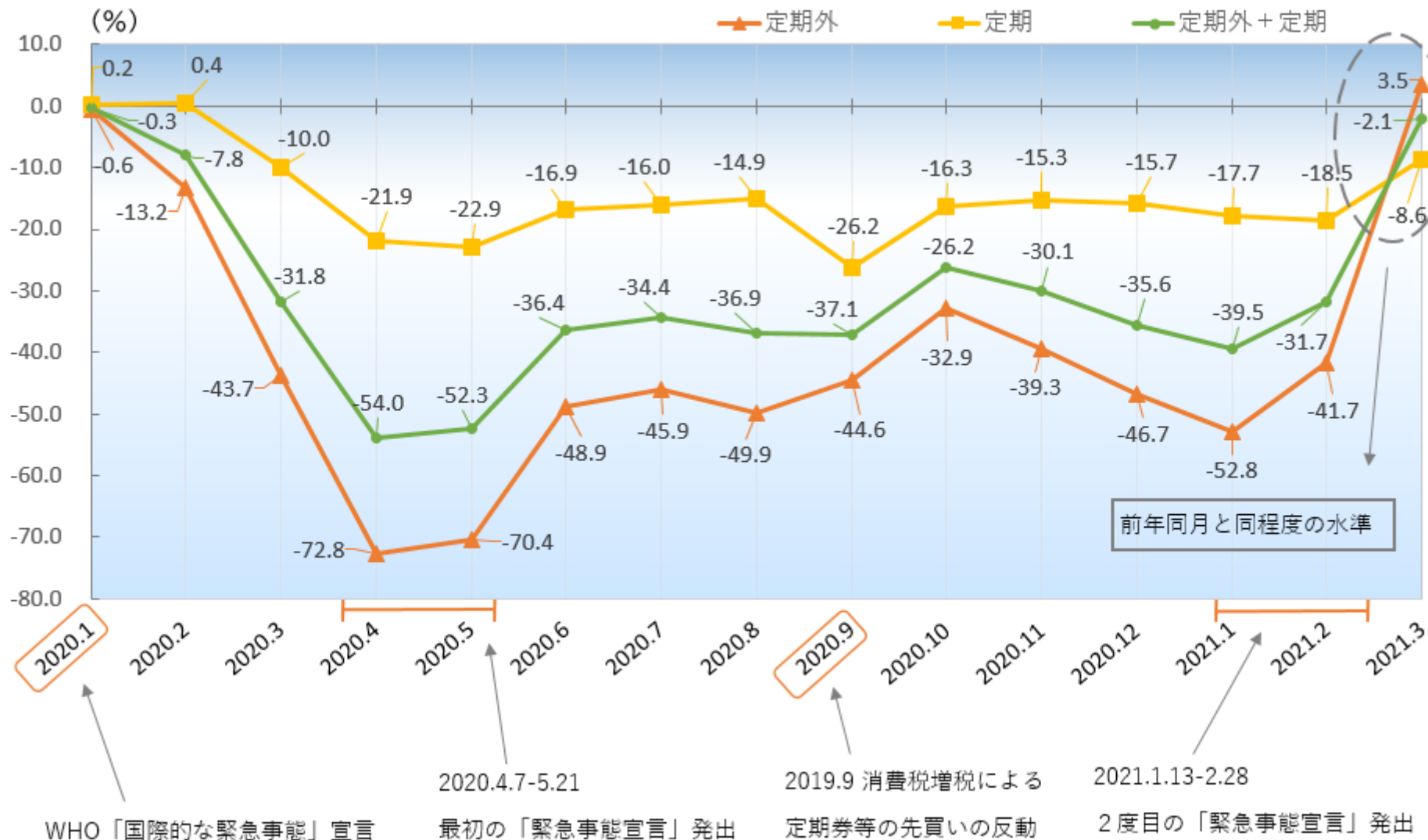
全線			2020年3月期 実績	2021年3月期 実績	増減	増減率
旅客収入	定期	外	35,073	18,544	△ 16,529	△ 47.1
	定期	期	22,562	18,548	△ 4,014	△ 17.8
	合	計	57,636	37,092	△ 20,544	△ 35.6
輸送人員	定期	外	97,774	60,670	△ 37,104	△ 37.9
	定期	期	141,680	117,494	△ 24,186	△ 17.1
	合	計	239,454	178,164	△ 61,290	△ 25.6

（単位：百万円・千人・％）

空港線			2020年3月期 実績	2021年3月期 実績	増減	増減率
旅客収入	定期	外	8,570	1,686	△ 6,884	△ 80.3
	定期	期	1,546	838	△ 708	△ 45.8
	合	計	10,117	2,524	△ 7,593	△ 75.0
輸送人員	定期	外	10,695	2,574	△ 8,121	△ 75.9
	定期	期	4,892	2,570	△ 2,322	△ 47.5
	合	計	15,587	5,144	△ 10,443	△ 67.0

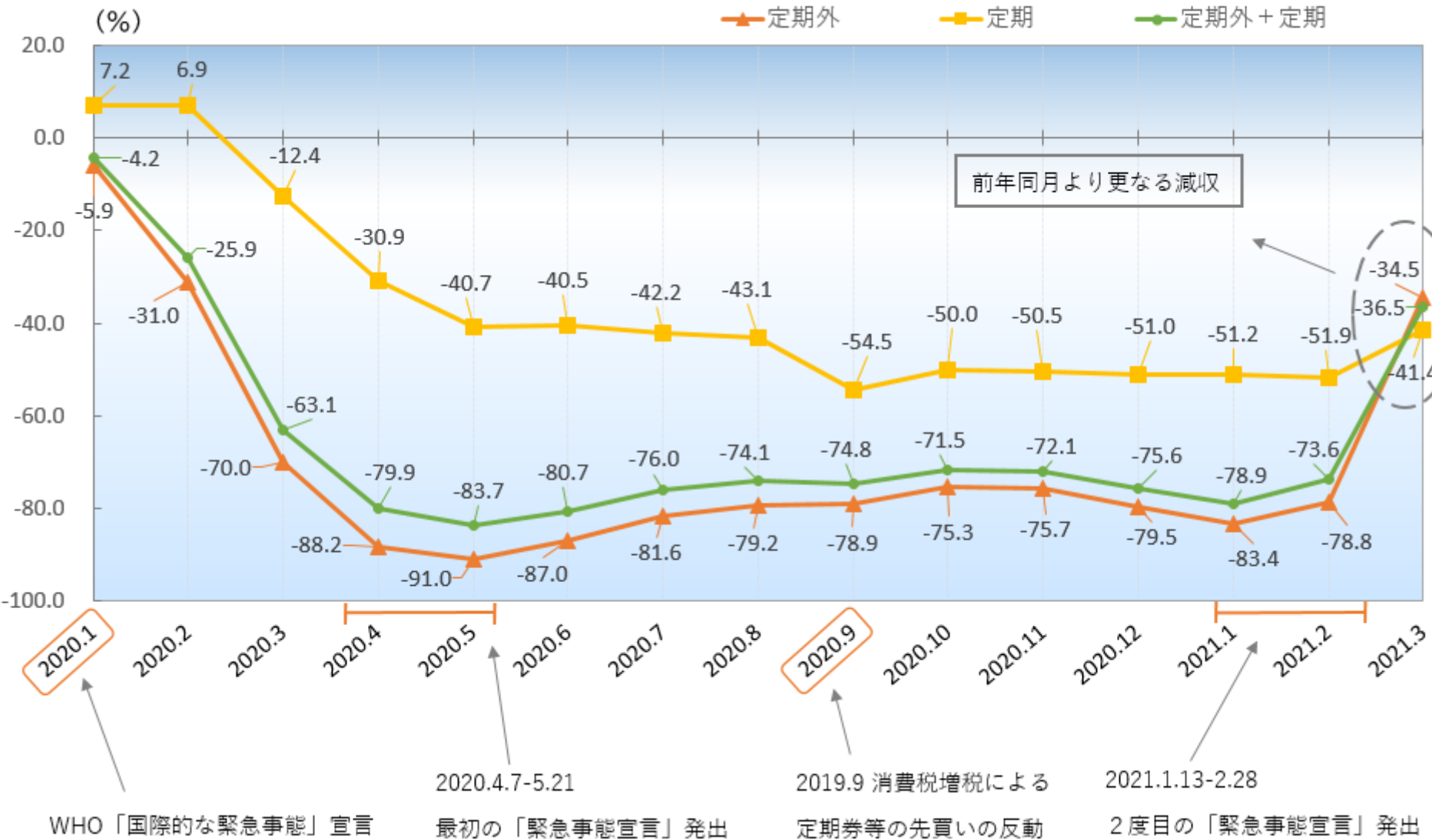
2. セグメント情報（運輸業）

【参考1】（個別－全線）鉄道旅客収入 前年同月比増減率の推移



2. セグメント情報（運輸業）

【参考2】（個別－空港線）鉄道旅客収入 前年同月比増減率の推移



2. セグメント情報（不動産業）

（単位：百万円・%）

不動産業		2020年3月期 実績	2021年3月期 実績	増減額	増減率
不	動 産 賃 貸 業	31,056	30,737	△ 319	△ 1.0
不	動 産 販 売 業	12,855	11,571	△ 1,283	△ 10.0
調 整 額 （ セ グ メ ン ト 内 ）		△ 426	△ 531	—	—
営 業 収 益		43,486	41,777	△ 1,709	△ 3.9
営 業 利 益		13,832	12,878	△ 953	△ 6.9
主 な 内 訳	不 動 産 賃 貸 業	13,122	12,063	△ 1,058	△ 8.1
	不 動 産 販 売 業	982	989	7	0.7

（主な増減理由）

- ・不動産賃貸業は、新規物件の寄与があったものの、新型コロナウイルス感染症の影響により減収減益
- ・不動産販売業は、マンション販売の減少により減収の一方、利益率の改善等により増益

2. セグメント情報（流通業）

（単位：百万円・%）

流通業		2020年3月期 実績	2021年3月期 実績	増減額	増減率
ショッピングセンターの経営		14,944	12,368	△ 2,576	△ 17.2
駅ビジネス事業		19,167	13,648	△ 5,518	△ 28.8
その他の流通業		879	744	△ 135	△ 15.4
調整額（セグメント内）		△ 2,642	△ 1,448	—	—
営業収益		32,348	25,312	△ 7,035	△ 21.7
営業利益		3,835	1,883	△ 1,951	△ 50.9
主な 内 訳	ショッピングセンターの経営	2,706	1,523	△ 1,183	△ 43.7
	駅ビジネス事業	1,121	391	△ 730	△ 65.1

（主な増減理由）

- ・ショッピングセンターの経営は、緊急事態宣言の発出に伴う商業施設（なんばパークス、なんばCITY等）の臨時休館など新型コロナウイルス感染症の影響により減収減益（臨時休館期間にかかる固定費は特別損失に計上）
- ・駅ビジネス事業は、新型コロナウイルス感染症の影響により減収減益

2. セグメント情報（レジャー・サービス業）

（単位：百万円・％）

レジャー・サービス業	2020年3月期 実績	2021年3月期 実績	増減額	増減率
ビル管理メンテナンス業	27,592	22,346	△ 5,246	△ 19.0
その他のレジャー・サービス業	17,713	14,365	△ 3,348	△ 18.9
調整額（セグメント内）	△ 2,324	△ 1,955	—	—
営業収益	42,981	34,756	△ 8,224	△ 19.1
営業利益	2,762	2,285	△ 476	△ 17.3
主な内訳ビル管理メンテナンス業	1,369	1,092	△ 277	△ 20.2

（主な増減理由）

- ・ビル管理メンテナンス業は、設備工事収入の減少や新型コロナウイルス感染症の影響により減収減益
- ・その他のレジャー・サービス業は、ポートレース施設賃貸業が堅調に推移したものの、新型コロナウイルス感染症の影響により、旅行業をはじめ各事業で減収減益

2. セグメント情報（建設業 / その他の事業）

（単位：百万円・％）

建設業	2020年3月期 実績	2021年3月期 実績	増減額	増減率
建設業	41,154	45,510	4,355	10.6
調整額（セグメント内）	△ 43	△ 19	－	－
営業収益	41,111	45,490	4,379	10.7
営業利益	2,304	1,699	△ 604	△ 26.2

（主な増減理由）完成工事高の増加により増収の一方、利益率の低下等により減益

（単位：百万円・％）

その他の事業	2020年3月期 実績	2021年3月期 実績	増減額	増減率
その他の事業	3,508	3,041	△ 467	△ 13.3
調整額（セグメント内）	△ 4	△ 13	－	－
営業収益	3,503	3,027	△ 476	△ 13.6
営業利益	212	248	36	17.3

（主な増減理由）システム開発収入の減少等により減収の一方、利益率の改善等により増益

3. 営業外・特別損益の状況

(単位：百万円)

		2020年3月期 実績	2021年3月期 実績	増減額
営	業 外 収 益	1,462	1,695	232
	受 取 利 息	26	24	△ 2
	受 取 配 当 金	966	732	△ 233
営	業 外 費 用	5,009	5,393	384
	支 払 利 息	4,311	4,149	△ 162
特	別 利 益	3,000	2,349	△ 651
	原 状 回 復 負 担 金 等 収 入	—	1,230	1,230
	補 助 金	—	416	416
	工 事 負 担 金 等 受 入 額	1,329	330	△ 999
	受 取 保 険 金	773	—	△ 773
特	別 損 失	4,150	5,400	1,249
	減 損 損 失	403	2,120	1,716
	建 替 関 連 損 失	75	1,867	1,792
	新型コロナウイルス感染症による損失	—	458	458
	工 事 負 担 金 等 圧 縮 額	1,277	326	△ 950
	固 定 資 産 除 却 損	849	57	△ 792

4. 資産、負債及び純資産の状況

(単位：百万円)

	2020年3月末	2021年3月末	増減額	主な増減理由
流動資産	73,221	101,068	27,847	<ul style="list-style-type: none"> ●流動資産 <ul style="list-style-type: none"> ・現金及び預金の増加 +239億円 当期末残高 418億円 前期末残高 178億円
固定資産	851,836	861,161	9,324	<ul style="list-style-type: none"> ●固定資産 <ul style="list-style-type: none"> ・投資有価証券の増加 +75億円 ・土地の増加（難波フロントビル等取得）+27億円
資産合計	925,058	962,229	37,171	
負債合計	669,054	703,660	34,606	<ul style="list-style-type: none"> ●負債 <ul style="list-style-type: none"> ・有利子負債残高の増加 +385億円 当期末残高 5,064億円 前期末残高 4,679億円
純資産	256,003	258,569	2,565	<ul style="list-style-type: none"> ●純資産 <ul style="list-style-type: none"> ・其他有価証券評価差額金の増加 +42億円 ・退職給付に係る調整累計額 +16億円 ・剰余金の配当 △19億円 ・親会社株主に帰属する当期純損失 △18億円
負債純資産合計	925,058	962,229	37,171	

5. キャッシュ・フローの状況

(単位：百万円)

	2020年3月期 実績	2021年3月期 実績	増減額	主な増減理由
営業活動による キャッシュ・フロー	58,935	21,338	△ 37,596	<ul style="list-style-type: none"> ● 営業活動によるキャッシュ・フロー ・税金等調整前当期純損益 △317億円 ・売上債権の増減 △111億円 ・減損損失 + 17億円 ・貸倒引当金増減額 + 10億円 ・工事負担金等受入額 + 9億円
投資活動による キャッシュ・フロー	△ 48,915	△ 33,273	15,642	<ul style="list-style-type: none"> ● 投資活動によるキャッシュ・フロー ・固定資産の取得による支出 +192億円 ・固定資産売却収入 △ 19億円
財務活動による キャッシュ・フロー	△ 14,853	35,821	50,675	<ul style="list-style-type: none"> ● 財務活動によるキャッシュ・フロー ・有利子負債増減額 +490億円 ○ 当期 借入金 +135億円 社債 +297億円 コマーシャル・ペーパー △ 50億円 ○ 前期 社債 △100億円 借入金 △ 56億円 コマーシャル・ペーパー + 50億円
現金及び現金 同等物の期末残高	17,030	40,917	23,887	

6. 投資額・EBITDA（セグメント別）

（単位：百万円）

	投資額			EBITDA ^{※1}		
	2020年3月期 実績	2021年3月期 実績	増減額	2020年3月期 実績	2021年3月期 実績	増減額
運 輸 業	20,928	10,454	△ 10,473	28,928	2,775	△ 26,153
不 動 産 業	22,682	14,680	△ 8,002	21,260	20,675	△ 584
流 通 業	2,515	1,625	△ 890	8,221	6,136	△ 2,085
レ ジ ャ ー ・ サ ー ビ ス 業	1,650	1,156	△ 493	4,419	3,991	△ 427
建 設 業	117	39	△ 78	2,459	1,841	△ 618
そ の 他 の 事 業	23	9	△ 13	226	262	36
調 整 額	—	—	—	※2 △ 540	※2 12	—
合 計	47,917	27,966	△ 19,951	64,976	35,695	△ 29,280

※1 営業利益＋受取配当金＋減価償却費

※2 EBITDAの調整額はセグメント間取引消去と受取配当金の合計額であります。

(参考) 新型コロナウイルス感染症の影響

(単位：億円)

セグメント	影響額 (2021年3月期実績)			主な内容
	営業収益	営業利益	(特別損失)	
運輸業	△ 374	△ 308	0	
鉄道事業	△ 237	△ 230	-	外出自粛やインバウンド需要の消失による輸送人員の減
バス事業	△ 118	△ 68	0	需要減に応じた路線運休・減便
不動産業	△ 14	△ 13	-	テナント売上減に伴う歩合賃料減
流通業	△ 74	△ 30	4	
ショッピングセンターの経営	△ 25	△ 19	4	商業施設の臨時休館(4/8~5/18)に伴う歩合賃料減他 テナント賃料・共益費減免
駅ビジネス事業	△ 47	△ 10	-	緊急事態宣言による休業 小売収入・飲食収入の減
レジャー・サービス業	△ 55	△ 16	-	
旅行業	△ 12	△ 5	-	旅行需要の減少
ボートレース施設賃貸業	△ 3	△ 0	-	ボートレースの無観客開催
ビル管理メンテナンス業	△ 17	△ 0	-	ビルメンテナンス収入他の減
合計	△ 519	△ 368	4	

Ⅱ. 2022年3月期 業績予想

1. 業績予想策定の前提条件

- ・現時点で入手可能な情報を基に算出していますが、足元では新型コロナウイルスの感染拡大や緊急事態宣言の発出による影響を受けるものの、対策の実施やワクチン接種の進展等により、国内を中心に移動需要が徐々に回復していくものと考えています。
- ・この前提にしたがって、鉄道事業やバス事業における運輸収入、流通業における売上高など、各セグメントの収入への影響を算出しています。
- ・費用面については、固定費を中心とした事業構造改革の取り組みのほか、不要不急の費用削減、設備投資の圧縮などの施策を織り込んでおります。

1. 業績予想策定の前提条件にもとづく主な想定数値と取り組み施策

<想定数値>

セグメント		種類	前提条件に基づく想定数値 (コロナ影響を控除した平年ベースの減少率)
運輸業	鉄道事業 (個別)	定期外 (既設線)	1 Q 約▲35% → 年度末 (3月) 約▲15%
		定期外 (空港線)	1 Q 約▲80% → 年度末 (3月) 約▲45%
		定期 (既設線)	1 Q 約▲20% → 年度末 (3月) 約▲10%
		定期 (空港線)	1 Q 約▲40% → 年度末 (3月) 約▲30%
	バス事業	一般乗合 (定期外)	1 Q 約▲30% → 年度末 (3月) 約▲15%
		リムジンバス	1 Q 約▲80% → 年度末 (3月) 約▲40%
不動産業	不動産賃貸業	ホテル物件	1 Q 約▲80% → 年度末 (3月) 約▲40%
流通業	ショッピングセンター の経営	ショッピングセンター (なんばCITY・なんばパークス)	1 Q 約▲30% → 年度末 (3月) 約▲20% (緊急事態宣言の発出による臨時休館の影響は別途織り込んで算出)

<取り組み施策>

○費用削減額 ▲75億円 (うち事業構造改革▲26億円)

○設備投資圧縮額 ▲152億円

※いずれもコロナ前 (2019年度) 対比

2. 業績ハイライト

(単位：百万円)

	2021年3月期 実績	2022年3月期 予想	増減額	主な増減理由
営業収益	190,813	218,500	27,686	<ul style="list-style-type: none"> ● 営業収益 足元の新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けているが、対策の実施やワクチン接種の進展等により、移動需要が徐々に回復していくとの見通しに基づき、運輸業を中心に収益の回復を見込むことに加え、収益認識基準の適用による影響（約110億円）により、大幅な増収 ● 営業利益 不動産業において除却費や修繕費の増加により減益を見込むが、運輸業の収支改善により大幅な増益 ● 親会社株主に帰属する当期純利益 特別損益の改善（前期は減損損失等を計上）と所得の改善による法人税等の増加を織り込み、最終黒字を確保 ● 投資額 引き続き投資を抑制 ● 有利子負債残高 増益や投資抑制の効果に加えて、前期に積み増した現預金の段階的な取崩により削減
営業利益	5,552	14,300	8,747	
経常利益	1,854	11,100	9,245	
親会社株主に帰属する 当期純利益又は 親会社株主に帰属する 当期純損失（△）	△1,861	6,000	7,861	
投資額	27,966	32,600	4,633	
減価償却費	29,410	29,100	△310	
E B I T D A [※]	35,695	44,100	8,404	
有利子負債残高	506,475	482,000	△24,475	
有利子負債残高/ E B I T D A [※] 倍率	14.2倍	10.9倍	△3.3pt	
純有利子負債残高/ E B I T D A [※] 倍率	13.0倍	10.3倍	△2.7pt	

※ 営業利益+受取配当金+減価償却費

3. セグメント別営業収益

(単位：百万円)

	2021年3月期 実績	2022年3月期 予想	増減額	主な増減理由 (収益認識基準適用による影響を除く)	収益認識基準適用による 影響
運 輸 業	66,566	85,800	19,233	●運輸業 鉄道事業 525億円 +68億円 運輸収入 +67億円 (内空港線 +17億円)	7,700
不 動 産 業	41,777	46,300	4,522	バス事業 198億円 +36億円 リムジンバス +11億円ほか	2,100
流 通 業	25,312	24,200	△1,112	●不動産業 不動産賃貸業 売上の回復 330億円 +1億円 (フレイザーレジデンスほか)	△1,700
レジャー・ サービス業	34,756	40,100	5,343	不動産販売業 139億円 +23億円 マンション販売の増加	2,900
建 設 業	45,490	46,400	909	●流通業 ショッピングセンターの経営 138億円 △1億円 テナント賃料の減少	—
その他の事業	3,027	2,800	△227	駅ビジネス事業 115億円 +10億円 売上の回復	—
調 整 額	△26,116	△ 27,100	—	●レジャー・サービス業 ビル管理メンテナンス事業 230億円 +6億円 受注増	—
合 計	190,813	218,500	27,686	ポータル施設賃貸業 61億円 +4億円 売上の増加 ●建設業 完成工事高の増加	11,000

3. セグメント別営業利益

(単位：百万円)

	2021年3月期 実績	2022年3月期 予想	増減額	主な増減理由 (収益認識基準適用による影響を除く)	収益認識基準適用による 影響※
運 輸 業	△13,599	△3,000	10,599	●運輸業 鉄道事業 △24億円 +68億円 増収に加え、総人件費や動力費の減少	300
不 動 産 業	12,878	11,200	△1,678	バス事業 △8億円 +25億円 増収の一方、総人件費の増加（雇用調整助成金の減）や経費の増加	△200
流 通 業	1,883	1,200	△683	●不動産業 不動産賃貸業 108億円 △10億円 増収の一方、除却費や修繕費の増加	△100
レジャー・サービス業	2,285	2,800	514	●流通業 ショッピングセンターの経営 6億円 △8億円 減収に加え、広告宣伝費の増加	—
建 設 業	1,699	1,900	200	●レジャー・サービス業 ポータル施設賃貸業 15億円 +1億円 増収による増益	—
その他の事業	248	100	△148	旅行業 △1億円 +2億円 増収による改善	—
調 整 額	155	100	—	●建設業 利益率の改善	—
合 計	5,552	14,300	8,747		—

※不動産業・流通業において収益認識基準を適用したことに伴う共通費の配賦額の変動を記載しております。

3. セグメント別投資額・EBITDA

(単位：百万円)

	投資額				EBITDA ※1		
	2021年3月期 実績	2022年3月期 予想	増減	予想額 主な内訳	2021年3月期 実績	2022年3月期 予想	増減
運 輸 業	10,454	14,400	3,945	<収益拡大投資 106億円>	2,775	13,100	10,324
不 動 産 業	14,680	14,400	△280	・なんばエリア周辺開発 42億円	20,675	19,100	△1,575
流 通 業	1,625	2,000	374	・物流賃貸事業 22億円 大阪府食品流通センター 新A棟建設等	6,136	5,600	△536
レジャー・ サービス業	1,156	2,600	1,443	<安全・更新投資 219億円>	3,991	4,200	208
建 設 業	39	0	△39	・鉄道関連工事 112億円 車両新造、高架橋補強等	1,841	2,000	158
その他の事業	9	0	△9	・不動産および 流通施設工事 74億円	262	100	△162
調 整 額	—	△ 800	—	南海ターミナルビル 既存施設改修等	※2 12	※2 0	—
合 計	27,966	32,600	4,633		35,695	44,100	8,404

※1 営業利益+受取配当金+減価償却費

※2 EBITDAの調整額はセグメント間取引消去と受取配当金の合計額であります。

3. 運輸業 鉄道旅客収入と輸送人員表（個別）

(単位：百万円・千人・%)

全線		2020年3月期 実績	対前年 増減率	2021年3月期 実績	対前年 増減率	2022年3月期 予想	対前年 増減率
旅客収入	定期外	35,073	△2.4	18,544	△47.1	24,154	30.3
	定期	22,562	0.2	18,548	△17.8	18,860	1.7
	合計	57,636	△1.4	37,092	△35.6	43,014	16.0
輸送人員	定期外	97,774	△1.1	60,670	△37.9	76,264	25.7
	定期	141,680	0.5	117,494	△17.1	118,331	0.7
	合計	239,454	△0.2	178,164	△25.6	194,595	9.2

(単位：百万円・千人・%)

空港線		2020年3月期 実績	対前年 増減率	2021年3月期 実績	対前年 増減率	2022年3月期 予想	対前年 増減率
旅客収入	定期外	8,570	△5.3	1,686	△80.3	3,277	94.3
	定期	1,546	6.8	838	△45.8	959	14.5
	合計	10,117	△3.6	2,524	△75.0	4,237	67.8
輸送人員	定期外	10,695	△3.4	2,574	△75.9	4,918	91.1
	定期	4,892	8.6	2,570	△47.5	3,139	22.1
	合計	15,587	0.0	5,144	△67.0	8,057	56.6